

ふうせん

ボランティアの
町づくりを 目指して!!

～ ボランティアスクール開催 ～

今年のボランティアスクールは10月25日、26日の2日間で行いました。日頃からボランティア活動をされている方や、これからやってみたいと思っている方、興味がある方等に参加していただき、研修や講演などを通して、ボランティアの輪が広がっていくことを目指しています。

1日目は弁護士の横田氏を講師としてお招きし、「成年後見制度」についてお話を頂きました。身近に弁護士の方を感じ、分かりやすく制度を理解することができたと思われます。更に午後からは「車椅子介助」を通じて日常の介助についてポイントを学びました。既に経験ある方も、改めて体験することで気づくこともあったようです。

2日目はバスで移動し赤平市立病院でのボランティア活動を視察し、地元の方々と交流・情報交換してきました。赤平では院内ボランティアとして、施設内の案内や清拭用タオルたたみ、清掃など行い、更に「かあさん食堂ポラン亭」として院内食堂を運営しており、実際に試食もしてきました。本格的に出汁からとって、非常に美味しいものでした。市外の活動ですが、三笠市との共通点や新たな発見等あり大変参考になりました。赤平のボランティアの方々大変ありがとうございました。



1日目の研修2は、日常の車椅子介助について」と題して、介助する側、される側を体験する貴重な機会となりました。



1日目の研修1は、「みんなの安心 成年後見制度」と題して、横田弁護士による講演でした。

2日目は、赤平市立病院でのボランティア活動視察と、かあさん食堂ポラン亭での試食でした。



＜平成 28 年度ボランティア活動報告＞

月 日	活 動 内 容	ボランティア 参加数など
4月1日～	ふれあい喫茶ボランティア(翌年3月31日まで)	活動者
4月26日	熊本地震義援金募金活動	18名
5月6日	ふれあい健康センターボランティア会議(ふれあい喫茶)	活動者
5月7日	みかさ梅まつり看護ボランティア	2名
6月16日	からだに優しい料理教室調理補助ボランティア	3名
7月2～3日	全道障がい者スポーツ大会介助ボランティア(留萌市)	1名
7月5日	ボランティア連絡協議会総会	活動者
7月8日	三笠市福祉スポーツ大会ボランティア	32名
8月2日	三楽荘・ことぶき荘「夏まつり、花火大会」ボランティア	31名
8月30日	ボランティア愛ランド北海道 2016 参加(室蘭市)	4名
9月14日	在宅重度障がい者研修介助ボランティア(滝川市)	2名
9月21日	ボランティア交流会	100名
10月4日	三笠中学校 福祉交流学習(1年生)講師ボランティア(車椅子・疑似体験)	4名
10月16日	桂沢紅葉まつり看護ボランティア	2名
10月21日	三笠中学校 福祉交流学習(1・2年生)講師ボランティア(手話体験)	5名
10月25～26日	三笠市ボランティアスクール開催(赤平市ほか)	計37名
11月1日	空知地区ボランティア活動推進セミナー参加(岩見沢市)	8名
11月20日	三笠小学校(5年生)福祉総合学習講師ボランティア(車椅子)	4名
11月27日	三笠小学校(4年生)福祉総合学習講師ボランティア(手話)	6名
12月4日	三笠小学校(3年生)福祉総合学習講師ボランティア(点字・アイマスク)	6名
12月21日	からだに優しい料理教室調理補助ボランティア	4名
1月30・31日	天理教ひのきしん隊除雪ボランティア	26名
2月18日	ボランティアリーダー学習会参加(札幌市)	1名
2月23日	榊神部組除雪ボランティア	7名

◎ボランティア愛ランド参加して

年度毎に開催地がローされるボランティア愛ランドですが、今回は室蘭で開催され、参加された方の感想を紹介させていただきます。

8月27・28日「ボランティア愛ランド北海道 2016in むろらん」へ参加させていただきました。

当日は大変天気も良く、会場では参加者 1,600 名と聞きました。分科会は 11 に分かれており、私たちは第 4 分科会「地域支援活動の現状」へ出席(定員 160 名)して、地域住民の支援活動の現状について、お話を聞くことができました。この分科会では、元気な高齢者と生活支援について考えました。事例発表での“ご用聞きわらび”の場合、生活している場面に応じて、利用会員、協力会員、賛助会員といろいろな料金を決めて活動しておりました。高齢者も日々の努力もありますが、やはり高齢者同士ですから、地域の方に支えてもらい「自分も元気でいたい、少しでも皆さんの役にたちたい。」という気持ちを持つことが大切だと感じました。

2日目の講演では、気象予報士 浜崎慎二氏のお話を聞くことができました。「気象から見る北海道の魅力」をテーマとし、北海道は3つの海に囲まれ海産物が多いことや、気象状況として降雪量が多いことに触れられていました。また、青森市と比べると札幌市の方が降雪量は少ないが、パウダースノーでサラサラ雪が非常に良いことや、梅雨がないので晴れる日が多く、日照時間が長いので農作物(ジャガイモ、玉ねぎ)が丸くなりやすく、良い野菜が出来ることでした。さらに、防災から考えると、近年北海道でも“激しい雨”の回数が増えてきているので、各地域での防災活動が重要になっています。活動は公助・共助・自助に分かれています。特に自助・共助の力が大切で、地域の繋がりを作っておくと良いでしょうという内容でした。大変良いお話を聞くことができました。

すずらんの会 酒井幸子

◇小中学校の福祉学習としてボランティア活動の場面を紹介いたします。

◆三笠中学校 福祉交流学習（車椅子・アイマスク）



「車椅子を押す方と、乗る方の両方を体験。立場によって感じ方が違うんですね。」

◆三笠中学校 福祉交流学習（手話）



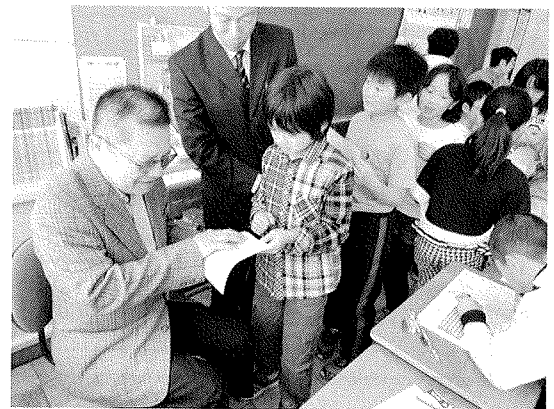
「体を動かして表現すると、声に頼らなくても伝えることができるんだね。」

◆三笠小学校 福祉についての学習（手話）



「手話って難しかったけど、歌やゲームもあって覚えると楽しかったよ」

◆三笠小学校 福祉についての学習（点字）



「覚えた点字で自分の名前を打ってみて、実際に指先で読みとってもらえたよ〜。」

◆三笠小学校 福祉についての学習（車椅子）



「誰かを助けようとする気持ちと、それを相手に伝える大切さもわかりました。」

◆三笠小学校 福祉についての学習（アイマスク）



「目が見えないと、ほんのちょっと動くだけでも、不安になると感じました。」

〈ふれあい喫茶ボランティアの取り組み〉

特色ある三笠市のボランティア活動として「ふれあい喫茶」があります。この活動は、ボランティア団体と個人が複数で協力して当番を作り、週 4 回ふれあい健康センターの一角で温かいコーヒーを淹れて提供しているもので、平成 6 年 8 月からずっと続けられています。20 年以上続いているこの活動は、市外からも参考にしたい等と視察に来られたこともあります。

この伝統的な活動に対し、今年度から新たに「三笠高校地域連携部」が協力してくれることとなりました。その協力は調理に関わるもので、月に 1~2 回“焼き菓子”をコーヒーのお茶請けとして提供してくれるというものです。初年度は 6 月から実際に提供され、利用者からは大変好評を得ており、ふれあい喫茶ボランティアとしても、とても励みになっているところです。

ふれあい喫茶の活動は今後も継続して取り組むべく、仲間同士で協力していますが、新たにボランティアとして活動頂ける方がいましたら、気軽にボランティアセンターまでご連絡下さい。

コーヒーボランティアの風景



三笠高校地域連携部の取り組み



様々なボランティアのご協力により活動を行っています！

Enjoy Car Life **JOYFUL** **1MAX** ハーフマックス

- 新車購入時に車両本体価格の50%を後回しして支払う新車の次世代半額プランです。
- 選べる新車全メーカー取扱い！輸入車もちろんOK!



詳しくはこちら

中古車買うよりお得！全メーカー全車種からお好きな車に半額で乗れます！

まきは **新車半額**

住所 岩見沢市栗沢町北幸穂92番
電話 0126-45-2642
お気軽にご連絡ください!!!

株式会社 栗沢自動車 **LOTAS CLUB**

《発行》 社会福祉法人
三笠市社会福祉協議会（三笠市ボランティアセンター）

〒068-2107 三笠市若草町 280 番地（老人福祉センター内）

TEL 01267-2-3151 FAX 01267-3-1515

メール syakyou@city.mikasa.hokkaido.jp

H P <http://www.geocities.jp/mkssyakyou/>

